



2021 年 2 月

- 今回のリリースでの新機能 (1 ページ)
- このリリースでの変更点 (2 ページ)
- 問題 (2 ページ)

今回のリリースでの新機能

ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の機能が導入されました。

- ロールベースのアクセス制御は、次のアプリに導入されています。
 - **Business Insights**
 - 影響分析
 - カメラメトリック

デフォルトでは、Cisco Spaces ダッシュボード管理者はこれらのアプリにアクセスできます。これらの管理者は、[Admin Management] オプションを使用して、これらのアプリへのユーザーアクセスを管理できます。



(注) Cisco Spaces ダッシュボードでは、[Business Insights]、[Impact Analysis]、および [Camera Metrics] アプリタイトルは、アプリにアクセスできないユーザーに対して無効に表示されます。



(注) Cisco Spaces ダッシュボードの **Right Now** アプリで静的デバイスフィルタリングが無効になりました。

パートナー ダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードに次の機能が導入されました。

- アプリのアクティブ化中に、IoT サービスで定義されたグループを表示できるようになりました。ただし、これらのグループは、次のイベントのいずれかを選択した場合にのみ表示されます。

- **IOT_TELEMETRY**
- **IOT_USER_ACTION**
- **BLE_RSSI_UPDATE**

アプリのアクティブ化中に選択したグループを管理するには、[Activation] ウィンドウで、[Groups] タブをクリックします。ここで、グループを追加または編集できます。



- (注)
- この機能を使用するには、指定した Cisco Spaces アカウントの IoT サービスを有効にする必要があります。この機能を使用するには、Cisco Spaces ダッシュボードと Cisco Spaces - パートナーダッシュボード for EXTEND アカウントの両方から IoT サービスを有効にする必要があります。
 - Cisco Spaces ダッシュボードと Cisco Spaces - パートナーダッシュボードの両方で実行されたアクティベーションのアプリのアクティベーション中に、上記のグループを確認できます。

このリリースでの変更点

Partner Firehose API

Cisco Spaces Partner Firehose API には、次の機能強化が加えられました。

- PIR トリガー情報を含む IoT テレメトリー イベント：PIR センサーがトリガーされると、PIR トリガーと PIR タイムスタンプに関連する情報が [IoT Telemetry] イベントの下で更新されます。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a～z）、N は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

Cisco Bug Search Tool

シスコバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 1: Cisco Spaces の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCvu98859	新しい構成を適用すると、[Button Click] データや [Movement] データなどのテレメトリが 18 時間以上にリセットされる
CSCvv16880	ゲートウェイの展開ワークフロー中に、タイミングの問題により、AP が「needs config mode（設定モードが必要）」として誤って分類されることがある
CSCvv28936	[Detect & Locate] で、Kontakt BLE デバイスをフィルタリングするオプションを提供する。
CSCvv34216	コネクタが HA ペアで再起動すると、ControllerChannel と APChannel がコネクタ間で分割される
CSCvv64362	カスタム AP グループの GRPC とアプリホストを自動有効にするオプションを提供する
CSCvv91424	特定のルール的一致/スキップ数がしきい値を超えると、密度ルールレポートが表示されない

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 2: Cisco Spaces の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCvw96992	CP ランタイム : CPF フィールドはフォーマットのみを検証し、数字は検証しません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。